

今日の出来事

1日目

Eladrin の Vexia からそのご主人、Ghael の Shenda を助けるという依頼を請け負ったペプラー、アネルバ、イナオ、フレメアは Geyhawk Ruin へ行こうとするが、なんとラリックの姿が見えない。ラリックの部屋を探すと、そこには手紙が。

「ラリックは預かった。返して欲しければ Tower of Zagig の地下まで来い」

こうして目的の増えたパーティであったが、クレリック無しではどうにもならない。そこで酒場でリクルートすると、オッサン = ネカリルという St.Cuthbert のドワーフクレリックが名乗りを上げた。オッサンは少々頭が悪いが、銀色のフルプレートとタワーシールドで身を固めた頼りになるファイター/クレリックだ。彼を連れて前回行った小さい穴通路の所に行き、Gaseous Form のポーションをのんでさらなる奥へ。

そこは Zagig's Promnade と呼ばれる Tower of Zagig の遙か地下。昔 Zagig が研究とその成果の発表などに使った場所だ。ついた部屋にはすごい風が吹き出てみなを壁にたたきつけたりしたが、ペプラーが機転を利かせて Web を張り、それでたたきつけられるのを防いだ。ここでオッサンが Cure Light Wand を持っていないことが分かり一同あわてるが、幸いフレメアが持っていたのでそれを使って奥に進むことに。

次の部屋は応接室で、ソファに座ると Unseen Servant が帽子を取って帽子かけに置いてくれるという仕掛けがあった(罠ではない)。そして「ザギグ師はすぐにおいでになります」というアナウンスが流れるが、もちろん待っても来るわけがない。アネルバが別の扉を開けると、そこは大きなホール、というか回廊になっていて、目の前にはその回廊の上 15ft のところにかかる空中歩道がある。また、向こうから削岩機のようなすごい音が聞こえてくる。歩道を渡って反対側に進み、そこにある扉で聞き耳をすると、何かむこうから物音が聞こえる。アネルバは戻ろうとするが、気づかれてしまい、扉から赤い帽子をかぶった目つきの悪い小人が出てくる。小人は PC 達を見ると Sylvan で「敵襲！」と叫び、扉を閉めた。すると、ガガガガというすごい騒音が段々近くなってきて、アネルバは巨大な石の戦車みたいなものが近づいてくるのを見た。その上に、赤い帽子をかぶった小人が3人乗って、わいわい騒いでいる。

これはジャガーノートという強力な戦争兵器なのだが、誰も正体を知らなかった。とりあえずまた扉から出てきた赤い帽子をイナオが殴り殺し、さらにイナオは Dimension Hop で戦車の上に飛び乗り、赤ずきんを倒そうとするが、その辺りでジャガーノートが張った Wall of Force で後衛と前衛が分断され、しかも太くて痛い赤ずきんに徐々に押されていく(カタナも一回投げた)。オッサンの回復も間に合わず、ついにイナオが倒れてしまう...がその時、オッサンは見た！イナオの体がびくんと震えたかと思うと、突然巨大な羽が生えた。さらに、剣を落とした手から爪が生え、口から大きな牙が生える。体全身がごわごわと固くなり、赤色に染まる。おののくオッサンをよそに、ex イナオはレッドキャップを爪爪羽羽口で引き裂く(倒せなかったけど)！しかも、その目は血走っており、オッサンすらも仲間とは見ていなさそうだ。

(ここで BGM が流れる)

あれは誰だ 誰だ 誰だ
あれはデビル
デビルマン デビルマン
墮落ものの名を受けて
敵味方忘れて 戦う男
デビルクローは 2d6 (+Str)
デビルウィングは 2d6 (+1/2Str)
デビルバイトは 1d8 (+Str)
Fire Resistance 20 てん
悪魔の力 身につけた
Good のヒーロー

デビルマン デビルマン

説明しよう！

イナオの hp が -1 以下になると、GreaterPitFiend のアリオック様と結んだ契約によって、イナオの体にデビルの力が流れ込む。これによってイナオの hp は自動的に 1 点に回復し、Temporary HP50 点を得る。さらに、

- ・爪が生える (2 Natural Primary Attacks, 2d6+Str)
- ・羽が生える (2 Natural Secondary Attacks, 2d6+Str/2)
- ・牙が生える (1 Natural Secondary Attack, 1d8+Str)
- ・Immunity to Poison
- ・Fire Resitance20
- ・Str+4
- ・Will ST+2
- ・皮膚が赤くごわごわになり、Natural Armor+2
- ・MultiAttack の Feat を得る (Secondary Attack は -2)

この効果は

- ・2d6 ラウンド経つ
- ・Temp HP が無くなる
- ・Dispel Magic で DC 20+Inawo's HD の Dispel Check に成功する (or ディスジャンクション) のどれかで終了する。

この効果は 1 戦闘中 1 回しか発動しない。また、この効果が発動するとイナオの Good Point が -4 される。

しかしそれだけではない。このモードにはいると、イナオは通常通り明晰に行動でき、論理的に動くことが出来るにも関わらず、周囲にいる全てのクリーチャーが敵に見えるようになってしまう。ただし、近くにいるクリーチャーを攻撃するわけではなく、ようは自分 1 人 vs 他全員で、どのように動いたら全滅させられるか、という観点で動く。従って Wizard がやっかいだと思ったらそいつを倒してもいいし、Cleric がやっかいだと思ったらそいつを倒してもよい。殺戮したいわけではないので、弱い奴から殺すわけではないし、苦しめたりして遊んだりはしない。

...本編に戻る。

デビルの力を身につけ Red Cap を屠るイナオだったが、Spell Like Ability を使い尽くして肉弾攻撃に移ったジャガーノートに瞬間的に Temp HP を削られ、しかもそのあと車輪で轢かれて死んでしまった。SR36、DR10、AC29 の生き物にイナオ無しでは勝てないということで、イナオの死体を引き連れて帰るパーティであった。しかし、オッサンはずっとイナオを不審な目つきで見ている。

2 日目

イナオの回復を待ち、ペプラー達は Spell Book の書き写し

3 日目

ジャガーノートは華麗に無視することにして、アネルバが Invisi+Fly でジャガーノートの上に

載っていたイナオのカタナや Red Cap のドロップ品である +1Keen Scythe を回収する。上の回廊に昇るための階段だろうと思ってアネルバが階段を偵察に行くと、その階段はもっと上の階からここに降りてくるための階段だった。しかもこの階段には魔法がかかっており、正しい合い言葉を唱えなければ無限に下り続けてしまって Promnard には行けないようになっている。アネルバはとりあえず上の階層に行き、そこで他の仲間がやってくるのを待つことにした。ところがそこにやってきたのは以前戦った Iuz の Cleric と Ranger と Beguiler と Barbarian。そして Undead になった General Ut-Ur。しかも、彼等は目がうつろなラリックをつれている。隠れたアネルバは難を逃れたが、その後を追ってきたペプラー達は階段の途中で Iuz の信徒達と遭遇してしまった。階段での戦いということでペプラーはグリースを撃って敵の進路を妨害するも、敵のキャスター二人はこけるのを気にせず侵入してきて、ペプラーとイナオにフィンプルマインド。これで戦いの雌雄は決した。強力なオーク Ranger の人間嫌い攻撃にイナオは瀕死&アババ状態、フレメアはさっさと逃げだし、新参者& Int6 のオッサンは状況が読めずおろおろ。すると敵は降参しろといい、命令を聞いたら命を助けるといふ。話しを聞くと、どうやら Iuz が城の地下に閉じこめられてしまったらしく、Iuz 教団は大変困っているらしい。そこで彼等は助けに来たわけだが、どうもこの地下は危険らしいということで、パーティに斥候をやって欲しいらしい。するとオッサンは「Iuz という仲間が閉じこめられているのか。閉じこめられているとは可哀想だ、助けるのは当然だ」というようなことを言って、Iuz 信徒にちょっと困ったような顔をさせていた。

毎日ちゃんと Sending を送ることで、ラリックを殺さないでいてくれると約束もした。アババになっているペプラーをラリックは Heal で治す。しかしその笑顔はうつろで、「ペイロアおじさんが治しちゃうよー」などと言っていた（普段と変わらないという説もある）。

その後 Iuz の信徒達が帰った後、アネルバはみんなと合流する。そしてオッサンの説明を聞いて、Iuz が悪い神様だと言うことを教えてあげるのだった。イナオがアウアウのまま、もう少し奥を探索することにする。

Greyhawk を上空からリアルタイム投影する壁画がかかった部屋や、運命の女神 Istus の像がある部屋（ここで金の糸をみんな引っ張ったが、イナオとオッサンは「悪い運命が待ち受ける」という気がした。これは後日分かる。）を過ぎ、何やら物音がする部屋にたどり着く。パフって扉を開けると、底にはグラディエーター風の男が立っており、問答無用でバスタードソードを振るってきた。また、その脇には小さな八本足の金色熊がいる。が、男はペプラーの Sculpt Fireball で燃やされて、熊も小さい割には太かったが、たまたま DR を抜けるグレソを持っていたイナオに殴り殺された。男の持ち物は少し燃えていたが、+2 プレストプレートなどが手に入った。帰って宿屋に貼ってある張り紙をみると、そいつはどうやら元 Greyhawk 闘技場の主で、指名手配中のロリス・ラクニアンという男だったらしい。懸賞金もあったが、消し炭の死体には払われないだろう。

4 日目

再び地下へ。ロリスの家の近くにあったダブルドアをあけたら、そこには顔は鳥、手がフック状になっている二足歩行の気持ち悪い化け物がいた。そいつらは問答無用で襲いかかってくるが、うち一匹が放った呪文でイナオが Dominate Monster される。ペプラーが奥にいる二匹をソリッドフォッグで分断するが、Dominate されたイナオが斬りかかってきた。Invisibility で隠れるペプラーとアネルバだったが、イナオは魔法戦士らしいところを無駄に発揮して、See Invisibility を唱える。一方分断されなかったフックホラーは、その額に開いた小さな穴から緑色のスライムを吹き出す。これによって魔法使い勢はみんなスタン、イナオも Dominate がとけるものやっぱりスタン。しかも、額の穴から出てきた触手に絡め取られてイナオは締められる。ついでに Solid Fog のむこうから Dimension Door してきた別のフックホラーもペプラーを締め始め、ペプラー気絶。アネルバは気絶したペプラーなどを助けて逃げようとするが、AoO でグラップルされて

Dimension Door で離脱。この時オッサンはすでに締められて死亡しており、スタンが解けたイナオは物扱いのオッサンと共に Dimension Hop で逃げ出した。その辺りで Large サイズのイリシッドが現れ、気絶したペプラーとフレメアは捕虜となった。他の PC はグレイホークへと逃げ帰った。

まずフレメアはちゅるっぽんされ、死亡。しかしペプラーのほうには、イリシッドは質問をする。「お前、Vythoon という Mind Flayer を知らないか」ペプラーが RogueMind Flayer のことを教えるとイリシッドは大喜び、ペプラーの命を助けてもいいなどと言い出した。ペプラーはイリシッドの靴をなめるなど、すごい頑張っで命乞い。結局所持金全部と Head Band of Intellect を奪われたものの生還した。大きなイリシッドは Vythoon を追って旅だった。

5 日目

帰ってこなかったフレメアの代わりにスワッシュバックラーのサレイジをリクルートし、ダンジョンに。

イリシッドと事を構えるのは嫌なので前回のダブルドアは避けて、残りのダンジョンを探索する。すると、粉碎されたストーンゴーレムの部屋の先に、突然外につながる部屋がある。そこはバルコニーのようになっている、向こうに街の尖塔や青い海が見える。Illusion だろうということで、Will ST をこころみるが、解けない。アネルバはバルコニーにある鳥籠を調べてエラドリンが捕まっていないかと疑ったが、ファンタズマルキラーの罠を発動させたただけだった。Illusion 以外には何もなさそうだとということで、戻って別の所に行く。回廊の先の方に、自然洞窟になっているところがあって、そこには幾つかのテントとドラウの死体が散らばっていた。どうやら、戦いがあつたらしい。燃えた死体や、焦げた死体、外傷のない死体などがあつた。戦いがあつたのは 1 ~ 2 週間以上前だろう。

そこから伸びる道は二本、片方は 7 つの穴につながっており、もう片方は黄色く霞がかつたように見えるキノコ畑につながっていた。キノコ畑にはバレットの死体があり、動くだろうなぁと思って近づくとやっぱり動いた。しかし、それはゾンビではなくて、近くに住む Yellow Musk Creeper という植物モンスターが作り出した種を運ぶキャリアーだったのだ。バレット偽ゾンビはたいして強くなく、イナオがちょっぴり痛いフルアタックを喰らうものの、問題なく倒せそうだった。しかし、そこで悲劇が起こつた。まずオッサンがファンブルし、ファンブル表で「ファンブル表を 3 回振る」を引いてしまう。結局ただの Stun で済んだが。そしてイナオが、やはりファンブルして、同じく「ファンブル表を三回振る」を引いてしまう。イナオは自分の足めがけて思いつき剣を突き立て、クリティカルダメージを受ける。これで hp がマイナスになり、デビルマンに変身した。Stun したまま恐怖におびえるオッサン。一方デビルマンはバレットを瞬殺し、次の目標をペプラーに定めた。ペプラーとアネルバはインヴィジして難を逃れようとするが、See Invisibility を唱えるデビルマン。サレイジはイナオをフルアタックするが、倒せない。逆にデビルアタックをくらって気絶する。結局、ペプラーのマジックミサイルによってデビルマンも気絶した。

一方その頃、Yellow Musk Creeper の孢子に操られてふらふらと樹の下にオッサンは近づいていた。樹はドリル状の枝でオッサンの頭に穴を開けようとしている (1d4Int Dmg/round)。これによって Int が 0 になると FortST をし、成功すると先ほどのゾンビになり、失敗すると死亡という恐るべき Yellow Musk Creeper だったが、気がついたアネルバが Dimension Door でオッサンを連れて帰ってきた。

イナオにいろいろ問い詰めるために、一度グレイホークに帰つた。イナオはデビルと契約したことなどをみんなにばらした。ラリックがいなくて良かったね。

6日目

Yello Musk Creeper を遠くから炎で焼き、今度は穴の方へ行く。七つの穴に適当に潜っていくとなぜか Greater Stone Golem の群れと遭遇しそうになったりして、あわてて逃げる。しかしそのうち辺りの穴を引き、その先に行く巨大なジグラットが見えた。また、脇道があってその先には中に炎を宿したような綺麗なクリスタルが見つかった。

ジグラットのあたりには石筍や石像が多く、石像にはリアルなものも多かった。用心して近づいていくが、アネルバはふと八本足で角と羽の生えた大きな獣がこっちを見ていることに気がつく。アネルバは心も凍るような気分になったが耐え、戦いが始まった。後衛は近寄るとやばいと言うことで、イナオとサレイジが近づくと、二人とも DC20 Fort ST に失敗して石になった(Alter Fortune も使ったのに)。仕方がないので、魔法使い達は逃げ出した。帰って文献を調べると、どうやらあれはバシリスクとドラゴンを混ぜ合わせたドラコリスクというものらしい(具体的には Half Black Dragon Advanced Basilisk)。

7日目

Break Enchantment を二発用意して、再び突入。まず Solid Fog をはり、ペプラーの渾身の Break Enchantment で二人は石から解けた。しかし、二人が石から元に戻ったとき、その目の前に Dracolisk がいた。イナオは全力で攻撃しようとするも、また石化(また Alter Fortune 使った)。サレイジもまた石化。Dracolisk はイナオの石像の頭を吹っ飛ばして、蘇生できないようにした。ペプラーの Break Enchantment が再び飛び、サレイジは回復。今度は石化せず、クリティカル混じりのフルアタックで Dracolisk に大ダメージを与えた。Dracolisk はその後驚異的な攻撃力で前衛を追い詰めるが、オッサンの回復もあってついに倒された。

イナオの頭のもげた石像を前に、Make Whole で治らないかなどと相談していると、突然赤い風が巻き起こって、圧倒されるような赤い悪魔が姿を現した。その恐怖のオーラに逃げまどうパーティをよそに、その悪魔は「死んでしまうとは情けない」と言ってイナオの頭を接着剤でくっつけ、石化を解いて去っていった。イナオが気がつくとき、仲間達が遠巻きにイナオを見ている。そしてなんだかからだが重い。アネルバに差し出された鏡で自分の顔を見ると、なんとスレイヤーズのゼルガディスのように体のあちこちに石が浮き出た気持ち悪い体になっていた。これで Cha が3にまで下がる。しかし、なんと DR5/adamantine を得たのだった。

ジグラット調べるが、そのてっぺんで燃えている炎の下にある筒状の通路しか、侵入経路は無いようだ。Protection from Energy をかけてアネルバが偵察に行くが、中に入るには全員分必要と言うことでその日はいったん帰った。

8日目

翌日、またジグラットに突入する。そこで、地下に続く階段と様々な本の入った図書室、そしてハンバーグの出る部屋を見つけた。また、別の部屋の壁には虹色の模様が描いてあり、それを見たイナオをオッサンはふらふらとそちらへ近づいていった...かと思うと、壁から光線が飛んできて、イナオとオッサンは危うく狂気に陥ったり、別世界に飛ばされそうになったが、耐えた。その壁のところには黒と白の怪しげな扉があり、こんな所を進むのはいやだということで、一度 Antimagic Field の Scroll を買いに帰った。

9日目

AntimagicField の Scroll でトラップ部屋を通過すると、ちいさなカゴに入った小さなガエルエラドリンがいた。エラドリンは Vexia の依頼で来たことを知ると、助けて下さいとお願いしてきたが、エラドリンが閉じこめられているカゴは Zagig が昔作った God Trap の試作品で、Disjunction ず

るか合い言葉を言わない限り壊れないアーティファクトらしい。いろいろ話を聞くと、どうやら彼女をここに閉じこめたの Iggwilv という伝説の女魔法使いらしい。しかし、彼女曰く少し変らしい。PC 達からシミュラクラムの話しを聞くと、彼女は全てが合点がいくという感じで以下のようなことを教えてくれた。

- ・ Iggwilv は Iuz を God Trap で捕まえた。
- ・ God Trap を使って Iuz の力を引き出し、シミュラクラムは本物になろうとしているらしい。
- ・ 破れた羽と角、山羊の足をした美しい女のような姿の Daemon, Lilitu Demon を引き連れているらしい。
- ・ 最近ここに来て計画を自慢していったときに、彼女は Abyssal で Lilitu に以下のようなことを言っていた (エラドリンに Tounge がかかっていることを忘れていたのではないだろうか)。
「Company of Seven が三つのカケラをちゃんとデミプレーンに隠しておくように念を押すのだ。特に, Hollow's Heart にあるカケラを。Boccob の手に渡ることがあってはならない。Rajaha の誰かとコンタクトするのがいいだろう、彼等はもはや Fraz-Urb'luu に忠誠を誓っているわけではないのだから。あと数週間だけでよいのだ。それで、もはやカケラは私にとってなんの問題でもなくなる。」
- ・ Hollow's Heart というのは、Abyss の 176 階層にある、Demon Prince of Deception, Fraz-Urb'luu の階層。カケラがなんなのかはわからないが、隠しておきたい言うのだから見つけてあげたらどうか。

ちなみに、Comapny of Seven というのは ペプラー は知っているが、大昔に活躍した伝説的な冒険者達で、Keoghtom, Murlynd, Tasha, Zagig, Heward, Quaal, Nolzur の 7 人。今も幾つかの Magic Item にその名を残し、彼等の多くは Hero Deity になっている。

このような話しを聞いた後、AntimagicField が切れる前に別の扉へと向かった。その先には展示室があり、いくつものガラスケースのなかに魔法の品が納められている。真ん中のテーブルには美しいゲーム台があり、そこに一組のカードが載っている。

ガラスケースの説明を読むと、どうやらみんな呪いのアイテムらしい。ここで サレイジ が何気なくカードを引くと、サレイジ の表情が一変する。なんとこれは Deck of Many Things で、彼はその効果を受けてアライメントが LE になってしまったのだ (5 枚引いて、ST が下がる、AL が変わる、Int が下がる、経験値を失う、全ての持ち物を失うを引いた...)。 オッサン もおもしろがって引き、+3 Shock Thundering Spiked Gauntlet を手に入れ、5000gp 相当の Diamond を手に入れ、経験値を 10000 点失い、城を手に入れ、アライメントが NE になり、Int が 4 下がった。これによって オッサン の Int は 2 になり、動物のようにアーとかダーしか言えなくなった。他のメンバーは一枚ずつひき、アネルバ は城を手に入れ、ペプラー は一回だけなにかを無かったことに出来るという能力を得、イナオ は ErinyesFighter4 の サナイ が仲間になることになった。

Int2 になってしまって Handle Animal しか受け付けない (本人談) 体になってしまった オッサン をどうしようか悩みつつも、ガラスケースのアイテムを一応回収してエラドリンの所に戻る。エラドリンは「だいぶ変わりましたね」とコメントし、檻を壊せないなら殺して欲しいとお願いする。殺されれば、True Resurrection で復活できるからだ。PC 達がこれを承諾すると、彼女の奪われた装備がたぶんダンジョンの先にあり、それを持って行ってもいいと言ってくれた。みんなで檻の隙間から殴り殺した。

しかし、先ほど手に入れた呪われた Rapier を持った サレイジ の顔がおかしい。その Rapier は呪われた +2Rapier で、バーサークしてしまうのだ。LE であるということもあって、良心の呵責無く攻撃を始める サレイジ。 ペプラー は「ここでパーティの膿は出し切った方がいい」などと思い オッサン や イナオ ごと葬ろうとするが、さすがに良心の呵責に負けてやらなかった。 イナオ は LG らしく サレイジ に武器落としをかけるが、落とされた武器を サレイジ は躊躇無く拾ってまた

殺戮をまた開始する。アネルバはさりげなくサナイにむかって「ご主人様が危ないよ」などと言
い、サレイジを殺させようとする。この間、オッサンはうーとかあーとか言いながらサレイジを
殴ったり蹴ったりしてほとんど外していた。

この地獄絵図は、サレイジが倒れることで終わった。

オッサンの AL が変わって呪文がでないため、サレイジの傷を治すことはできない。また Resist
Energy も当然出なく、炎から出るときにサレイジは死んでしまった。

グレイホークに帰り、Pelor 神殿でサレイジを 10gp で埋めてもらった。オッサンは城の持ち主
であることが分かったので、Druid を雇って Dominate Animal してもらい、城に置いてきた。そし
て、図書室で見つけた Manula of ~ 二冊と、Stone Golem Manual を売って得た 55000gp 近くを 3 人
で分けた。こう書くとなんだ悪人みただけれど、実際のプレイ時には頭（と腹筋）が麻痺して
何も思わなかった。ちなみにサレイジを倒して手に入れた経験値は 300 点くらいだった（DM is
Always Any Evil）。

Vexia にご主人を殺したことをいうと Vexia はちょっぴりショックを受けるが、True
Ressurrection で復活させますと言って Ioun Stone を置いて帰っていった。

最近 Greyhawk の近くに出来た建物

・オッサンの城

風雲オッサン城は Greyhawk の近郊、農地の真ん中に立つ巨大な動物園です。中には数々のアニ
マルや Int が 2 以下の冒険者が放し飼いになっており、野生のままに平和に暮らしています。来園
者は Otiluke's Telekinetic Sphehere の中に入って彼等を間近で観察することが出来ます。しかし、
冒険者の中には Int が 2 の Sorcerer がおり、これに近寄りすぎると Disintegrate を撃たれることが
あって危険です。入園料は 2cp で、近隣の農民達の良い娯楽になっています。城の主はオッサン
というドワーフ (NE, Cleric of Obad-hai8, Int2) で、+3 Shocking Thundering Spiked Gauntlet で日々動
物たちと戯れています。

・アネルバ城

アネルバ家は古より続く大泥棒の家系でした。アネルバの先祖の中で最も偉大な業績を成し
遂げたとされる Alpin the third は、Adult 以上の赤、青、緑、黒、白、金、銀、銅、青銅、黄銅のドラ
ゴン一匹ずつから財宝を盗み取るという誓いを立て、仲間の協力を得てそれをやり遂げたので
した。彼はそのようにして得た財宝を、空中を浮遊する巨大な城に隠し、数々の致命的な罠と致
命的なモンスターを配置し、誰にも取られないようにしました。その城は全ての占星術から守ら
れ、その上常に Flaness 中を飛び回ってその居所を知ることは誰にもできませんでした。

アネルバが Deck of Many Things で引いたカードには、Flaness の地図が書いてありました。そし
て、移動する小さな光の点。直感的に、これこそが彼女の先祖の魔空城だとアネルバには分かり
ました。そう、数百年ぶりに、先祖の財宝の眠る城へと赴くことが出来るようになったのです。

手に入れたもの

・サナイの身の上話

サナイはもともとは別々の Erineys と東方の女戦士 (LN Human, Fighter4; 女は侍にはなれないの
で) でした。ある日、女戦士は近くに住む悪いウーイエン / シュゲンジャ / ミスティックシアー
ジを倒しに行くという依頼を受け、仲間と共に向かいましたが、あっさり負けました。仲間は皆
死にましたが、女戦士はたまたま生き残りました。その妖術師はたまたまその時 Erineys をバイン
ドしようと思って頑張っていたのですが、言うことをあまり聞かなく、女戦士と融合させること
にしました。こうして生まれたのがサナイです。二つの意識は性格が似ていたこともあって、拒否

感無く融合して一つになりました。これで力を得たサナイはその妖術師を殺すことに成功し、未知の世界へと羽ばたこうとしたのですが、妖術師が持っていた Deck of Many Things を引いてしまい、亜空間に閉じこめられてしまいました。しかし、引いておいた別のカードは、「いつか一人の侍がお前を解放するだろう。その男に心から仕えることで、お前はさらにもものふポイントを得ることが出来るだろう」と教えてくれました。そこでサナイはいつか素敵な殿様が助けに来てくれることを信じて、カードの中で眠りにつきました。Deck of Many Things は人の手を渡って Zagig の所にたどり着き、そしてイナオによってカードは引かれ、サナイはイナオに仕えることにしたのでした。

ちなみに、LE のサナイにはイナオの Cha3 は 20-3 で 17 に見えるので、全然問題ありません。

サナイは美しい黒髪を結び上げ、赤いぼたんのかんざしをさしています。そして銀糸で炎の縫い取りがしてある黒い着物を着ています。ただし、動きやすいように着物の足の部分にはスリットが入っています。その背中からは白い羽が生えています。

腰には少し短めのカタナを一本だけ下げており、背中にはかなり大きめの、しかし細い弓と、漆塗りの黒い矢筒を背負っています。

ちなみに、サナイ(の元になった Erineys)はアリオック (LE Pit Fiend Cleric20) の元部下です。ついでに言うと、アリオックは Dispaten の部下で、その中でもかなりの地位にあるようです。

スタットは次回渡します。

・ Headband of Intellect+6 with prohibiting casting
Int+6 だけど、あらゆる呪文が使えなくなる。

・ Book of Infinite Spells
今は Heal のページが開いており、それ以外に 3 ページ残っています。

・ Lesser Metamagic Rod of Quicken with Stunning
使うと 1d4 ラウンドスタンします。

・ ペプラーがひっつかんできた図書室の本は 3 冊あり、そこには Lv1 ~ 9 までの全ての PHB に載っている Evocation の呪文が記してあり、その上見たこともない呪文が 1 つと魔法を強化する技のやり方が一つ書いてありました。

呪文

Zagig's Booby Trap

Evocation

Wizard/Sorcerer5

Component:V/S/M (コウモリ糞)

Casting Time:1Std

Range:Medium

Area:5ft.Radius Burst Each

Duration:1round/Lv

Saving Throw:Reflex Half

Spell Resistance:Yes

この呪文を唱えたとき、Caster は範囲内の 1/3CL 個のクリーチャーによって占められていないマスを選ぶ。そこに不可視の Force パネルが設置され、効果時間の間そこにある。誰かがこれを踏

むと、それは下品な音を立ててそのマスと隣接する 8 マスで爆発し、1d6/2CL(Max7d6) の Fire Dmage を与える(Reflex Half)。隣接しておいてあり、Large 以上のクリーチャーがいったんに踏んだとしても、ダメージは一回しか受けない。

どこに BoobyTrap が仕掛けてあるかを味方に説明するのには Full Round Action。

技 (ペブラーへの Bonus Feat)

Vengeful Spell[Metamagic]

Spell LV 修正 : +0

呪文の DC が +2 され、Empower, Extend, Silent, Still, Enlarge がかかる。さらに、対象の SR を抜くための CL チェックに +4 のボーナスがつく。ただし、この Metamagic がかった呪文は、深い恨みを持った相手にしかかけることは出来ない (その対象を範囲内に納める、攻撃対象にするなどでも可)。深い恨みが何かは DM 判断だが、例えば

- ・靴をなめさせられる
 - ・Feeblemind を二回もかけられる
 - ・殺される
 - ・LvDrain されてしかも ST に失敗する
 - ・戦闘中に 30 ダメージ喰らう
 - ・全滅させられそうになる
 - ・逃げ帰ることを余儀なくされる
- などがあげられる。

・アネルバがひっつかんできた呪文書は 4 冊あり、1 ~ 6Lv の Enchantment が書いてある本と、1 ~ 6Lv の Divination が書いてある本でした。その中に、アネルバは自分に有用そうな見知らぬ呪文を見つけます。

Instant Boo

Enchantment

Wizard/Sorcerer1

Component:V

Casting Time:Swift

Range:Close

Target:One Living Creature

Duration:1raoud

Save:None

SR:Yes

対象はキャスターからの攻撃に対して Flat-footed 扱いになる。

Weak Spot

Divination

Wizard/Sorcerer4

Component:V/S

Casting Time:1Std

Range:Personal

Duraiton:10min/Lv

キャストは1d6/4Spot Rankの Sneak Attack を得る。対象が Sneak/Skirmish/Sudden Strike を使える場合、それに対するボーナスに変更される。

追加経験点

Lv10 だった人：2324 (サナイには入りません)

Lv11 だった人：1623

罨の分を忘れていました。あと Ghael Eladrin を解放したボーナス分。

次回予告

ついにシミュラクラム Iggwilv の野望を突き止めた PC 達。もしシミュラクラムが本物になってしまえば、Greyhawk は 30LvEpic Wizard によって壊滅的な打撃を受ける (かも)。Iuz の力を吸い取り終わる前に、Iuz を解放するのだ (あれ)。

囚われままの ラリック の運命は！？

新しい仲間は 1 セッション以上持つのか (新しくキャラ作る人は 10Lv っきりでよろしく)？

そして イナオ は、LG を保てるのか？？？

次回「The Hall of Memory」大変ろくでもない冒険の舞台が君を待つ。

PK：3